

京都工芸繊維大学 学生後援会 総会(オンライン会議) 議事要旨

日時：令和4年4月5日(火) | 14時00分～| 14時45分

出席者：森迫清貴 会長(学長)、小野芳朗 副会長(副学長)、吉本昌広 副会長(副学長)、
寶珍輝尚 副会長(副学長、工学科学部長)、増田 新 副会長(副学長)、
亀井加恵子 副会長(副学長)、中 健介 副会長(副学長)、
森 祐介 理事(応用化学課程保護者)、澤田賢二 理事(デザイン・建築学課程保護者)、
小酒井克也 理事(事務局長)、桑原教彰 理事(副学部長)、岩田容子 理事(学務課長)、
諸角恒宜 理事(学生支援・社会連携課長)
一回生保護者3名(情報工学課程、機械工学課程、デザイン・建築学課程)
二回生保護者1名(情報工学課程)

議事に先立ち、森迫会長から、学生後援会会則第2条および第4条に基づき、同会の目的と具体的な事業について説明があった。

議題1 令和4年度学生後援会役員について【資料1】

森迫会長から、学生後援会会則第6条および第7条に基づき、令和4年度学生後援会役員の選考について審議を願う旨、説明があった。

諸角学生支援・社会連携課長から、資料1に基づき、新たな学外理事2名を含む11名の理事と学内外の監事2名について説明があった。

審議の結果、承認された。

議題2 令和3年度学生後援会事業収支決算(案)について【資料2～3】

森迫会長から、学生後援会会則第11条に基づき、令和3年度学生後援会事業収支決算について審議を願う旨、説明があった。

諸角学生支援・社会連携課長から、資料2に基づき、令和3年度の収入と支出それぞれの決算額について、予算額と比較した増減理由等も含めて説明があった。

併せて、資料3に基づき、主な事業内容についても説明があった。

審議の結果、承認された。

議題3 令和4年度学生後援会事業計画及び予算(案)について【資料4】

森迫会長から、学生後援会会則第11条に基づき、令和4年度学生後援会事業計画及び予算について審議を願う旨、説明があった。

諸角学生支援・社会連携課長から、資料4に基づき、令和4年度の収入と支出それぞれの予算額について、前年度と比較した増減理由等も含めて説明があった。

審議の結果、承認された。

【資料】

- 1.令和4年度 京都工芸繊維大学 学生後援会 役員(案)
- 2.令和3年度 京都工芸繊維大学 学生後援会 事業収支決算
- 3.令和3年度 京都工芸繊維大学 学生後援会 事業内容
- 4.令和4年度 京都工芸繊維大学 学生後援会 事業計画予算(案)

【参考資料】

- 1.京都工芸繊維大学学生後援会会則

学長等と学外理事等との間で意見交換された主な事項

総会終了後、森迫会長等と総会に出席した学外理事及び一般の学生保護者との間で行われた意見交換の主な事項は、次のとおりである。

- ① 新型コロナウイルス感染症拡大に伴う対応(対面授業の実施等)について
- ② 本学が実施している英語教育について
- ③ 留学の実施状況について
- ④ インターンシップの実施状況について
- ⑤ 3×3の教育制度について
- ⑥ 大学院への進学状況について

以上